

統計

伊万里

I M A R I

平成 19 年
(2007年)

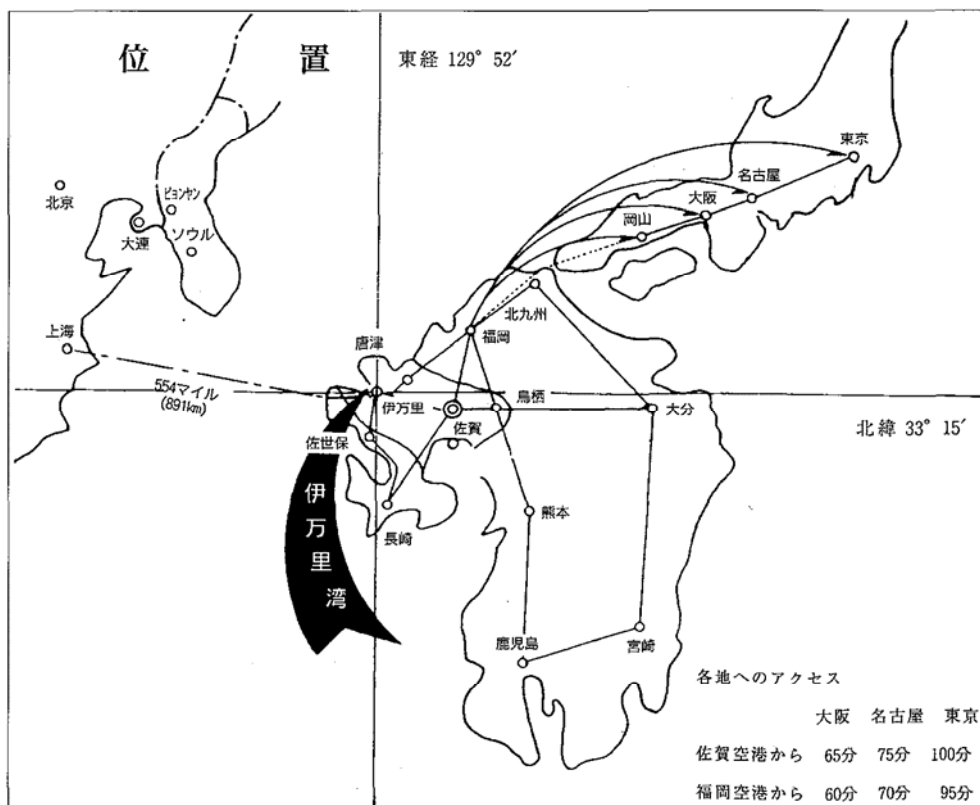
伊万里市

伊万里市は、佐賀県の西北部にあって、東松浦半島と北松浦半島の結合する位置にあり、伊万里湾が深く入り込んだ天然の良港を擁しています。古くから大陸貿易の基地として発展し、江戸時代には「古伊万里」の積出港として大いに栄え、「イマリ」の名を世界に広めました。

鍋島藩窯 300 有余年の歴史と伝統を誇る伊万里焼をはじめ、伊万里梨や伊万里牛など「食のまち伊万里」としての特産品も全国的に有名です。“秘窯の里”として知られる大川内山は、三方を山に囲まれた秘境ムードにあふれ、平成15年9月には大川内鍋島窯跡が国史跡の指定を受けました。また、伊万里湾には全国でも数少ない、生きた化石といわれるカブトガニが生息しており、訪れる人の心を和ませてくれます。

近年では、伊万里湾総合開発を軸に大規模な臨海工業団地を造成し、造船業やIC関連産業、木材関連産業、水産加工業等が産業の基幹的役割を担っており、伝統産業と先端技術とが融和した特色ある都市づくりを行なっています。

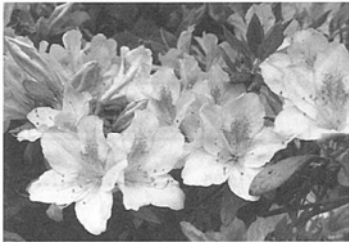
さらに、伊万里港では、平成9年のコンテナターミナル開設以来、コンテナ貨物の取扱量が飛躍的に増加し、平成17年には貨物取扱量が博多港、北九州港に次ぐ九州第3位に躍進しました。平成18年には年間取扱量が3万本を超え、北部九州の国際物流港として着実に成長しています。平成15年度からは伊万里港を拠点に「伊万里・アジアネットワーク事業」に着手し、伊万里焼や伊万里梨などの伊万里ブランドの輸出に向けた取り組みを推進するとともに、海洋科学技術を中心とした知的基盤の形成による新たな産業の創出など、伊万里湾の特性や港湾機能をフルにいかした地域産業の振興を図っており、全国へ、世界へ、「伊万里」の名を情報発信しています。





市長 塚部 芳和

市の花



つつじ

市の木



マキの木

伊万里市

